

# 「地域自治システム」新千里東町地域住民報告会&意見交換会 意見概要

2月6日(日)13:00~15:30/新千里東町会館/参加住民34名

## 発表グループ1 (ファシリテーター/山本(和))

### ●夏まつりの運営のあり方

・夏まつりの企画、運営方法は、組織を一度白紙に戻して、組み立て直した方がよい。

### ●地域活動の現状、課題

- ・PTAは就労率が高くて、ボランティアをしたくてもできない状態。
- ・後継者がいない。
- ・青パトなど、活動自体が知られていない。

### ○地域活動の活性化に向けたアイデア

- ・義務感ではなく、主体的に参加してもらえようようにしたい。
- ・忙しくても活動に参加している理由は楽しいから。もっとインフォーマルな気軽な活動として伝えたい。
- ・地域活動、ボランティア活動では、自分たちが楽しむことが大切で、そうすれば、後継者問題も解消できる。
- ・「一度参加して楽しければ、また参加してもらえばよい」という雰囲気をつくるのが大切。
- ・ひとりではなく、友だちどうしで誘いあって参加してもらえばよい。
- ・各種団体の活動イメージの固定化が参加を拒んでいる。柔らかなイメージを伝えたい。
- ・このような気軽に悩みを話し合える機会があつてよかった。有意義。



## 発表グループ2 (ファシリテーター/後藤)

### ●地域活動の担い手不足

- ・後継者が育たない。
- ・ひとりの人が複数の団体の役員を兼ねていることが問題。
- ・PTA役員は押し付け合いの状態。
- ・役員が1年で変わってしまうことが問題。
- ・PTA活動は拘束時間が長い。もう少し工夫できると思う。
- ・私自身母子家庭でPTA役員の活動をしているときは子どもの相手ができない。イベントが重なると週末は会合がつづき、子どもにストレスがかかる。たまたま、PTA役員の子どもの世代、同性が多く、一緒に遊んでもらえたので助かった。
- ・地域団体の活動に対して先入観があり、関わりと長時間拘束されるなど大変だろうという不安がある。
- ・子育て、仕事、家事に追われていると、よくないとは思いつつも、地域のことはリタイアした世代の方をお願いしたいという甘えを持ってしまう。
- ・住宅の建替えて、オートロックのマンションが増えている中、顔をあわせる機会が減っている。顔を知らない人のお誘いには、よい活動であっても参加しにくい。

### ○地域活動の担い手不足解消に向けたアイデア

- ・保育園や幼稚園の送迎バスを見送った後に長時間立ち話ししている時間があるなら、活動に参加してほしい。
- ・もう少し楽しい雰囲気にできれば、協力者が増えると思う。

### ●広報「ひがしおか」の課題と可能性

- ・広報「ひがしおか」の存在は知っていたが、読んでいなかった。PTAの役員になって初めて関心をもった。それが実情だと思う。自分の生活に直接関わらないことには関心は持ちにくい。
- ・広報「ひがしおか」編集委員会に各団体の情報が十分に集まっていない。

### ○地域団体間の連携に向けたアイデア

- ・今日のように、一つの団体ではなく、地域団体が互いの悩みを相談しあえる場が、今までにあればよかった。
- ・各団体が互いに助け合えばよい。
- ・各地域団体が、それぞれの活動の周知を徹底しあうべき。各団体が独立しすぎて連携できていない。イベントの日程調整が講師都合になってしまい、保護者の都合にあわせられなかったことが問題になったが、他の団体と連携すれば解消できると思う。
- ・市の放課後子どもクラブの時間は夕方5時までだが、以前民間団体が夜7時まで児童の一時預かりをしていたことがあったと聞いた。よい活動は、地域で協力して継続できるようにしてほしい。





### 発表グループ3 (ファシリテーター／玉富)

#### ● 少子高齢化が進んでいる

- ・ひとり暮らしが多く、孤独死があった。
- ・少子化が進んでいる。

#### ● 地域活動の担い手が不足

- ・活動の担い手、後継者が少ない。
- ・会合に代わりに出てくれる人がいないため、休めないという義務感が役員の重荷になっている。
- ・PTA の役員になってはじめて活動に参加するようになり、様々な団体の人と会う機会ができたが、どこにいても同じ人が役員をしているという印象。

#### ● 地域活動時の活動費が使いづらい

- ・PTA の活動費の使い方に制限があり、使いにくい。

#### ● 地域活動が知られていない

- ・活動の周知が広まらない。
- ・情報発信がもっと必要。
- ・地域団体の活動内容や予算、予算については自主財源なのか市からの助成金のかなどがわからない。活動内容がわからない中で参加してくださいと言われても参加しにくい。
- ・各団体の活動内容や役割を知ってもらうことが大切。連協の役員ですら、連協に参加していない団体の活動はあまりわからないし、知る方法がない。

#### ○ 地域をよくしたいという住民が多く、参加している人は主体的に活動している

- ・東町には地域の役に立ちたい、地域をよくしたいという住民が多く、熱心。
- ・活動に参加している人は、自治会にしても、防犯にしても楽しみながらやっている。

#### ○ 地域自治組織についての期待と不安

- ・地域自治組織での意思決定はどのように行われるのか、どのような権限が与えられるのかなどの枠組みを考え、示さないと伝わらない。意思決定のしくみをしっかりとつくれば、必要なことにお金がまわるようになる。
- ・新しい組織ができると仕事が増えるのではないかという不安がある。
- ・行政の方でやってもらえないのか、でも行政にはできないだろう。
- ・自治会加入を強制できないか。
- ・地域団体の中で役割分担を進め、ひとりに負担が偏らないようにしたい。
- ・代表者にはどんな人になるのが重要。
- ・東町のまちの町長選挙をして代表者を選出し、まちの代表者として行政に対して権限をもつようにしたい。
- ・地域自治組織のあり方については、みんなで考え、問題点があれば解決していけばよい。
- ・みんながボランティアになり、参加できるしくみづくりが大切。



### 発表グループ4 (ファシリテーター／若山)

#### ○ 地域自治組織設立に向けた進め方

- ・つくってもつくらなくても地域の自由という言い方ではなく、少子高齢化の中で切実な問題だということを行政からつきつけていくべき。
- ・地域自治組織を検討する組織をつくるのであれば、連協だけでなく多くの団体が参加して行うべき。
- ・地域自治組織は必要なので、連協だけでなく様々な団体が参加して準備組織を立ち上げて進めるべき。
- ・今日の参加者は地域住民の数パーセント。今後は、残り大多数の住民にしっかりと情報発信していかなければいけない。広報「ひがしおか」でも全住民が読んでいるわけではないが、1年間、新聞のページ数を増やし特集を組むことなど工夫したい。発生する新たな費用は市からの助成があるとよい。

